



『血をまわす』

鎌倉のうつわギャラリー「うつわ祥見KAMAKURA」プロデュースによる「うつわ小説」シリーズの第二作め。

DJとうつわ作家の不思議な出会い。レコードプレーヤーのターンテーブルと轆轤(ろくろ)にそれぞれ向き合い、ほんとうに大切なことから目をそらさずに、それぞれの世界を生きてきたふたりが「血」を通して交錯する奇跡を描く。

小説の内容に合わせて、紙製レコードケース入り。

「うつわ小説」シリーズは全部で四話、それぞれ独立したストーリーになっています。「その3」は5月刊行予定。

発売: 港の人 | A5変型 | 並製本 | 本文28ページ | 定価1,500円 (本体価格・税別)

いしいしんじ 作家。1966年大阪生まれ。著作に「ぶらんこ乗り」「トリツカレ男」「妻ふみくつえ」など。京都にて、当時5歳だった息子「ひとひ」とともに湯浅学氏に師事、3人で「アナログほか3代」を名乗る。ふだんは番音器でのSPレコード再生に熱心にとりこんでいる。



京都の長屋で時を超えて生きるいしいしんじと
東京で病とともに暮らす樋口泰人が京都と東京で「血をまわす」。
血をまわせば何かが変わる。
回っているのは血なのかふたりなのか
回るふたりの手元で血も回るその渦から
湧き出る言葉と時間に我を忘れるひととき。
今ここに在る別世界とともに。

いしいしんじ『血をまわす』/ 樋口泰人『そこから先は別世界』
発売記念トーク



photo: Yasuhito Higuchi

血をまわせば別世界

●京都編 3月29日(土)

開場……………14時30分

開始……………15時

料金……………2,500円

会場……………外

〒606-8427 京都府京都市

左京区鹿谷法然院西町18

<https://soto-kyoto.jp/>

問い合わせ……info@soto-kyoto.jp

●東京編 4月17日(木)

ゲスト……………湯浅学

開場……………18時

開始……………18時30分

料金……………2,500円

会場……………渋谷QUATTRO LABO

〒150-0042 東京都渋谷区

宇田川町15-1 渋谷パルコ B1F

TEL: 03-6455-3001

<https://quattrolabo.com/>

問い合わせ……bakuons@boid-s.com

【チケットご予約】メール受付中(京都・東京共通)

bakuons@boid-s.com

※お名前、メールアドレス、ご予約人数をご記入ください。

※定員に達し次第受付終了とさせていただきます。

『そこから先は別世界 妄想映画日記2021-2023』

爆音映画祭プロデューサー、映画の製作・配給・宣伝、レコードやライブの企画・制作、書籍の出版など、中心を欠いた活動を続ける「boid」の社長でもある映画批評家・樋口泰人。

コロナ禍での経済的打撃や友人たちの死、そして自身の病といった苦境の中で聞こえない声に耳を澄まし見えない何かに目を凝らしているはずのない何かとともに新たな「生」を生み出し続けた3年の記録。

発売: boid | A5変形 | 並製本 | 本文496ページ | 定価: 3,800円 (本体価格・税別)



Photo: Joti Kurita

樋口泰人 映画批評家、boid主宰、爆音映画祭プロデューサー。98年に「boid」設立。04年から吉祥寺バウスシアターにて、音楽用のライブ音響システムを使用しての爆音上映シリーズを企画、「爆音映画祭」は全国的に展開中。個人レーベルVOICE OF GHOSTにて幽霊たちと戯れている。著書に「映画は爆音でささやく」(boid)、「映画とロックンロールにおいてアメリカと合衆国はいかに開ったか」(青土社)。

樋口泰人
そこから先は別世界



妄想映画日記 2021-2023

qb/white higuchi / yakokoro zakura